

平成24年 1 ～ 3 月期平均の結果^(注)

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	246,000 円		
前年同期比	名目 0.9%の増加	実質 0.5%の増加	
二人以上の世帯は,	284,940 円		
前年同期比	名目 1.5%の増加	実質 1.1%の増加	
単身世帯は,	153,536 円		
前年同期比	名目 1.0%の減少	実質 1.4%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.3%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.3%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 3.3%の減少

:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

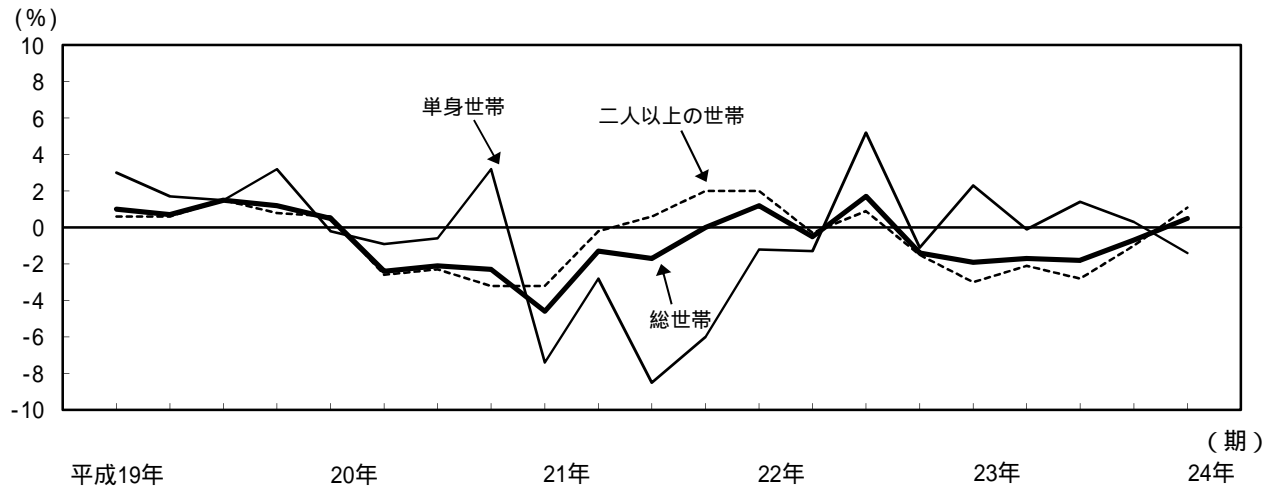
< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.8%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.2%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 0.9%の増加
	平均消費性向	81.5	%
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 3.1%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 2.3%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 1.4%の増加
	平均消費性向	82.7	%

(注) 統計調査員による不正事務の発生(詳細は、平成24年4月25日報道発表資料(URL: <http://www.stat.go.jp/data/kakei/pdf/120425.pdf>))に伴う再集計結果である。(平成24年8月10日掲載)

消費支出の推移

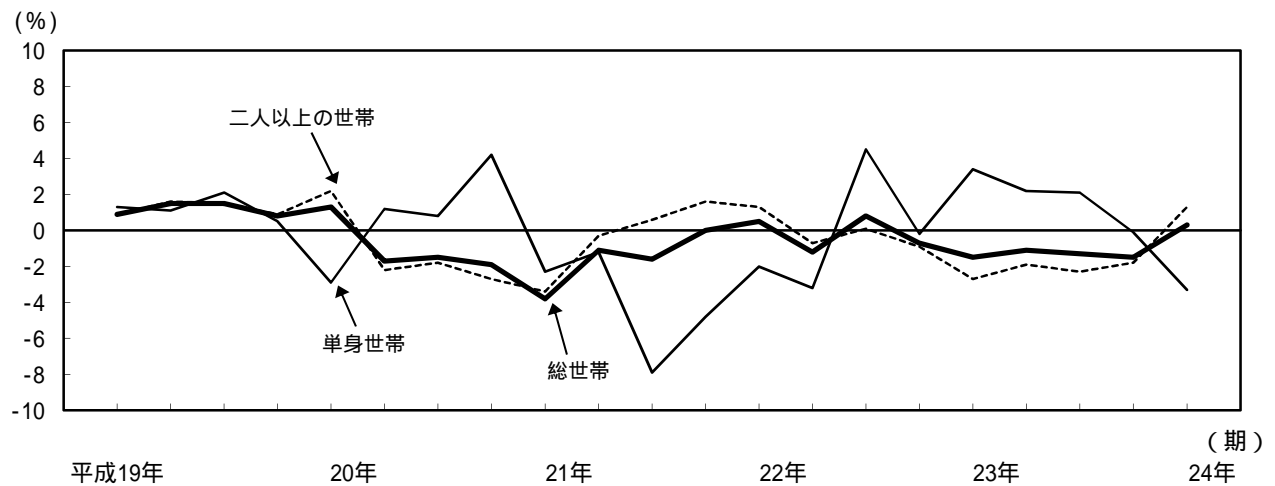
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成21年				22年				23年				24年
総世帯	-4.6	-1.3	-1.7	0.0	1.2	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5
二人以上の世帯	-3.2	-0.2	0.6	2.0	2.0	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1
単身世帯	-7.4	-2.8	-8.5	-6.0	-1.2	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.4

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

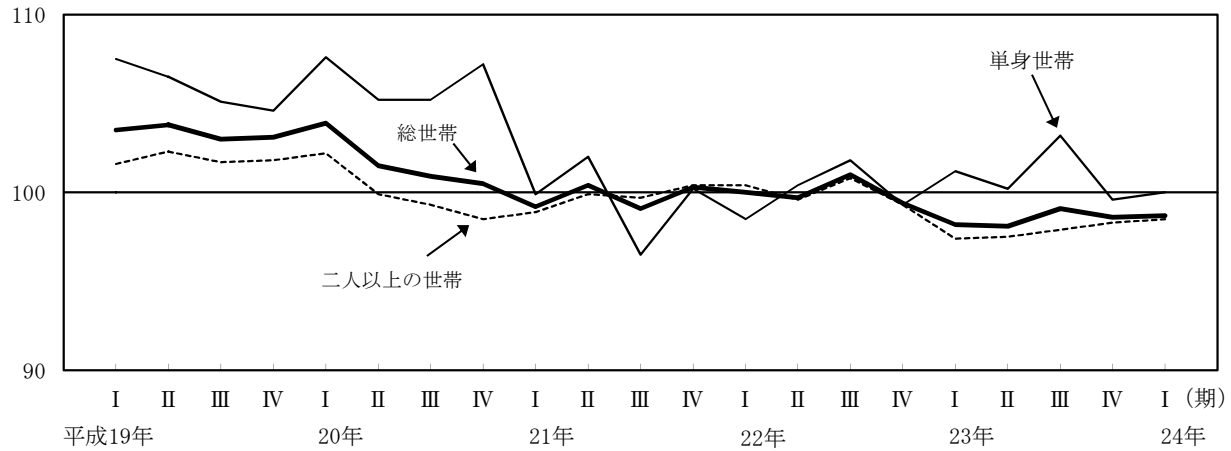


消費支出(除く住居等)	平成21年				22年				23年				24年
総世帯	-3.8	-1.1	-1.6	0.0	0.5	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3
二人以上の世帯	-3.4	-0.3	0.6	1.6	1.3	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.8	1.3
単身世帯	-2.3	-1.2	-7.9	-4.8	-2.0	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	-0.1	-3.3

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(平成22年=100)



消費支出	平成21年				22年				23年				24年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I (期)
総世帯	99.2	100.4	99.1	100.3	100.0	99.7	101.0	99.4	98.2	98.1	99.1	98.6	98.7
対前期変化率(%)	-1.3	1.2	-1.3	1.2	-0.3	-0.3	1.3	-1.6	-1.2	-0.1	1.0	-0.5	0.1
二人以上の世帯	98.9	99.9	99.7	100.4	100.4	99.6	100.8	99.3	97.4	97.5	97.9	98.3	98.5
対前期変化率(%)	0.4	1.0	-0.2	0.7	0.0	-0.8	1.2	-1.5	-1.9	0.1	0.4	0.4	0.2
単身世帯	99.9	102.0	96.5	100.2	98.5	100.4	101.8	99.3	101.2	100.2	103.2	99.6	100.0
対前期変化率(%)	-6.8	2.1	-5.4	3.8	-1.7	1.9	1.4	-2.5	1.9	-1.0	3.0	-3.5	0.4

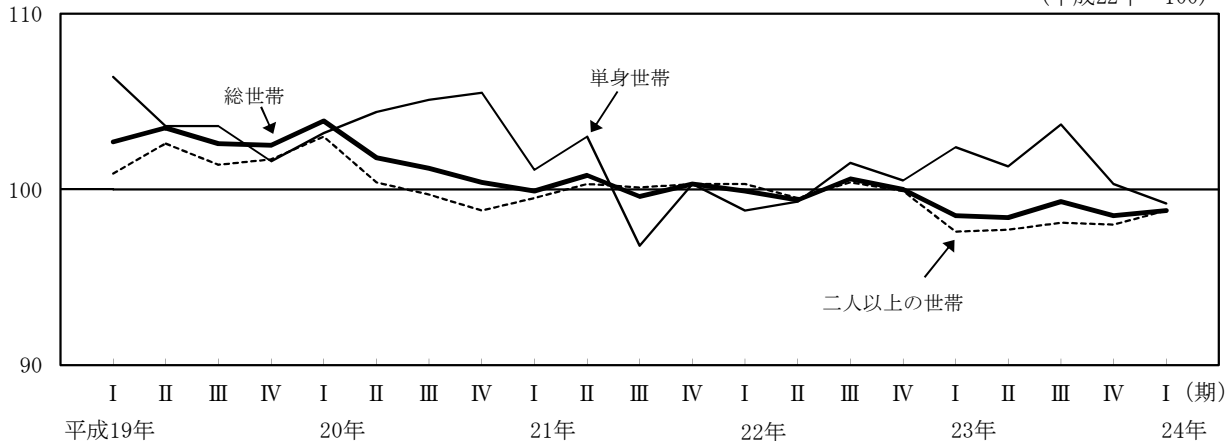
注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、過去に遡って改定した。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移

(平成22年=100)



消費支出(除く住居等※)	平成21年				22年				23年				24年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I (期)
総世帯	99.9	100.8	99.6	100.3	99.9	99.4	100.6	100.0	98.5	98.4	99.3	98.5	98.8
対前期変化率(%)	-0.5	0.9	-1.2	0.7	-0.4	-0.5	1.2	-0.6	-1.5	-0.1	0.9	-0.8	0.3
二人以上の世帯	99.5	100.3	100.1	100.3	100.3	99.5	100.4	99.9	97.6	97.7	98.1	98.0	98.8
対前期変化率(%)	0.7	0.8	-0.2	0.2	0.0	-0.8	0.9	-0.5	-2.3	0.1	0.4	-0.1	0.8
単身世帯	101.1	103.0	96.8	100.3	98.8	99.3	101.5	100.5	102.4	101.3	103.7	100.3	99.2
対前期変化率(%)	-4.2	1.9	-6.0	3.6	-1.5	0.5	2.2	-1.0	1.9	-1.1	2.4	-3.3	-1.1

注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、過去に遡って改定した。

I. 総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年1～3月期－総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	246,000	0.9	0.5	0.5		6期ぶりの実質増加
食 料	56,551	2.4	1.2	0.27	<増 加> 外食, 乳卵類など	4期連続の実質増加
住 居	16,595	-0.1	0.1	0.01	<増 加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	24,501	4.9	0.2	0.02	<増 加> ガス代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	7,328	4.1	7.5	0.22	<増 加> 家庭用耐久財, 室内装備・装飾品など	13期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	9,771	7.0	6.4	0.24	<増 加> 洋服, 履物類など	2期連続の実質増加
保 健 医 療	10,616	-1.2	-0.2	-0.01	<減 少> 保健医療サービス	5期ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	33,018	2.9	1.8	0.23	<増 加> 自動車等関係費	6期ぶりの実質増加
教 育	8,295	4.5	4.3	0.14		
教 養 娛 楽	24,085	-4.2	-1.8	-0.19	<減 少> 教養娯楽用耐久財, 書籍・他の印刷物	2期連続の実質減少
その他の消費支出	55,240	-2.3	(-2.7)	(-0.61)	<減 少> こづかい, 仕送り金など	6期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類 品 目

<増加項目>		実質寄与度	
自動車等関係費	[0.55]	自動車購入, 自動車等関連用品
外食	[0.28]	飲酒代, 和食
教養娯楽サービス	[0.21]	国内パック旅行費
家庭用耐久財	[0.10]	電気冷蔵庫, 電気洗濯機
乳卵類	[0.08]	ヨーグルト, チーズ
洋服	[0.08]	女子用学校制服, 子供服
<減少項目>			
教養娯楽用耐久財	[-0.43]	テレビ, ビデオデッキ
通信	[-0.16]	移動電話通信料, 運送料
交通	[-0.14]	鉄道運賃, 航空運賃
交際費	[-0.12]	贈与金
穀類	[-0.09]	米, 中華めん
保健医療サービス	[-0.09]	他の入院料*, 出産入院料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

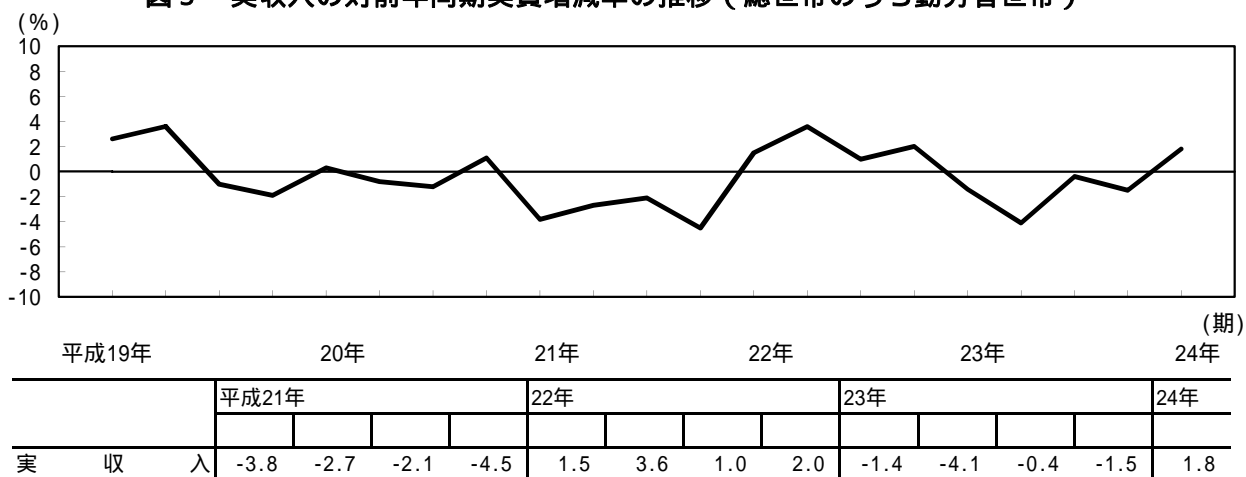
* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年1～3月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	404,979	2.2	1.8	1.8	5期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	332,877	2.1	1.7	1.39	2期ぶりの実質増加
定 期 収 入	327,276	2.1	1.7	1.34	2期連続の実質増加
臨時収入・賞与	5,602	4.0	3.6	0.05	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	35,873	6.3	5.9	0.50	2期連続の実質増加
う ち 女 性	35,336	5.8	5.4	0.45	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	5,936	-9.3	-9.7	-0.16	4期連続の実質減少
非 消 費 支 出	68,796	5.1	-	-	3期連続の増加
可 処 分 所 得	336,184	1.6	1.2	-	5期ぶりの実質増加
消 費 支 出	274,008	1.3	0.9	-	5期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	81.5	(前年同期) (ポイント差) 81.8 -0.3			

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	284,940	1.5	1.1	1.1		6期ぶりの実質増加
食 料	65,090	2.7	1.5	0.33	<増 加> 外食,乳卵類など	2期連続の実質増加
住 居	15,873	-1.3	-1.1	-0.06	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	3期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	28,834	4.9	0.2	0.02	<増 加> ガス代,電気代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,905	4.6	8.1	0.24	<増 加> 家庭用耐久財,家事雑貨など	4期連続の実質増加
被服及び履物	11,381	5.9	5.3	0.20	<増 加> 洋服,シャツ・セーター類など	2期連続の実質増加
保健医療	12,671	-1.0	0.0	0.00	<同水準>	
交通・通信	38,791	2.9	1.8	0.24	<増 加> 自動車等関係費	6期ぶりの実質増加
教 育	11,790	5.0	4.8	0.19	<増 加> 補習教育,授業料など	3期連続の実質増加
教養娯楽	27,251	0.0	2.5	0.24	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品	5期ぶりの実質増加
その他の消費支出	64,353	-1.6	(-2.0)	(-0.47)	<減 少> 仕送り金,こづかい	16期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[0.55]	国内パック旅行費,ゴルフプレー料金
自動車等関係費	[0.46]	自動車購入,自動車等関連用品
外食	[0.26]	飲酒代,和食
諸雑費	[0.20]	婚礼関係費,葬儀関係費
補習教育	[0.17]	幼児・小学校補習教育,高校補習教育・予備校
家庭用耐久財	[0.13]	電気冷蔵庫,電気洗濯機

< 減少項目 >

教養娯楽用耐久財	[-0.35]	テレビ,ビデオデッキ
通信	[-0.14]	移動電話通信料,運送料
穀類	[-0.10]	米,カップめん
保健医療サービス	[-0.10]	他の入院料*,出産入院料

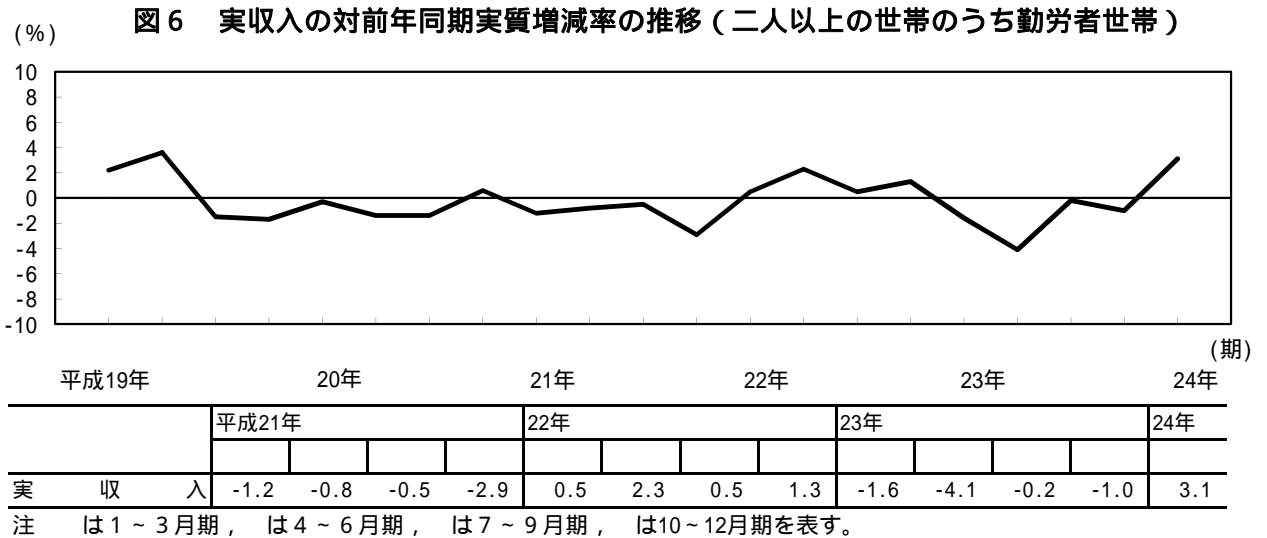
注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは,「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	451,706	3.5	3.1	3.1	5期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	357,710	3.7	3.3	2.61	2期ぶりの実質増加
定 期 収 入	351,164	3.5	3.1	2.43	2期連続の実質増加
臨時収入・賞与	6,546	14.4	13.9	0.18	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	49,016	6.6	6.2	0.65	2期連続の実質増加
う ち 女 性	48,281	6.1	5.7	0.59	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	8,110	-9.1	-9.5	-0.19	4期連続の実質減少
非 消 費 支 出	76,220	7.4	-	-	3期連続の増加
可 処 分 所 得	375,485	2.7	2.3	-	5期ぶりの実質増加
消 費 支 出	310,648	1.8	1.4	-	5期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	82.7	(前年同期) (ポイント差) 83.5 -0.8			



単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	153,536	-1.0	-1.4	-1.4		3期ぶりの実質減少
食 料	36,270	2.1	0.9	0.20	<増 加> 外食,酒類など	4期連続の実質増加
住 居	18,302	2.4	2.6	0.31	<増 加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	14,210	6.3	1.5	0.14	<増 加> 他の光熱,電気代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	3,585	3.1	6.5	0.15	<増 加> 家事サービス,室内装備・装飾品など	2期連続の実質増加
被服及び履物	5,947	13.5	12.8	0.43	<増 加> 洋服,履物類など	4期連続の実質増加
保健医療	5,739	-1.1	-0.1	0.00	<減 少> 医薬品,保健医療サービス	2期ぶりの実質減少
交通・通信	19,318	3.7	2.6	0.31	<増 加> 自動車等関係費	3期ぶりの実質増加
教 育	0	-	-	-		
教 養 娯 楽	16,568	-17.4	-15.4	-1.99	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	33,597	-4.2	(-4.6)	(-1.05)	<減 少> 諸雑費,交際費など	2期連続の減少

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[-1.22]	外国パック旅行費,宿泊料
諸雑費	[-0.96]	寄付金,祭具・墓石
交際費	[-0.85]	贈与金
教養娯楽用耐久財	[-0.78]	テレビ,パーソナルコンピュータ
交通	[-0.47]	鉄道運賃,鉄道定期代
調理食品	[-0.24]	弁当,そうざい材料セット

< 増加項目 >

自動車等関係費	[1.02]	自動車等部品,自動車整備費
外食	[0.35]	中華食,飲酒代
設備修繕・維持	[0.32]	設備器具,外壁・塀等工事費
酒類	[0.22]	ワイン,清酒
洋服	[0.21]	婦人服,婦人用上着

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 総世帯）

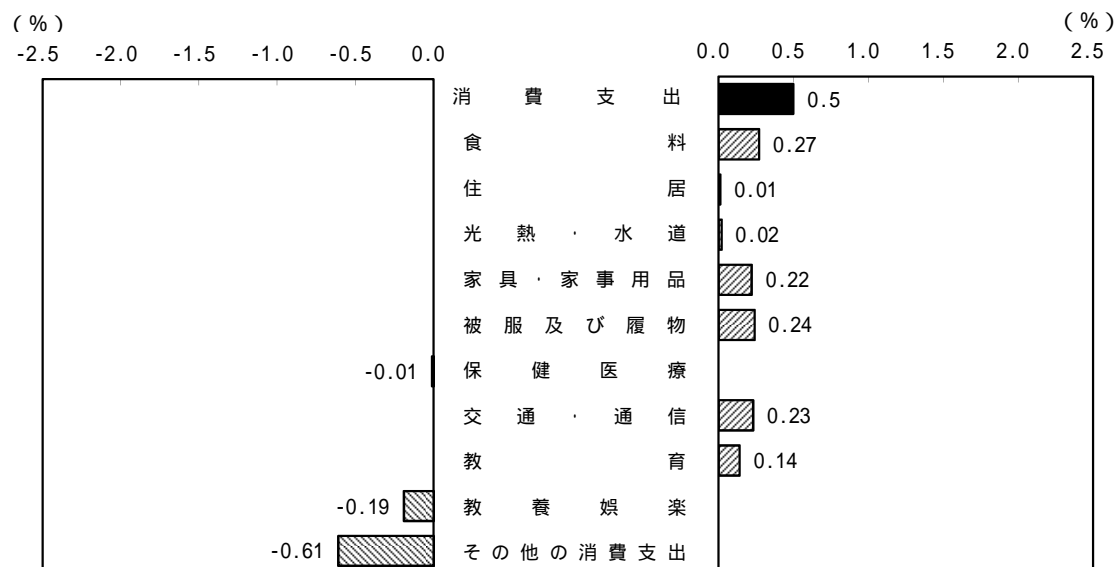


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯）

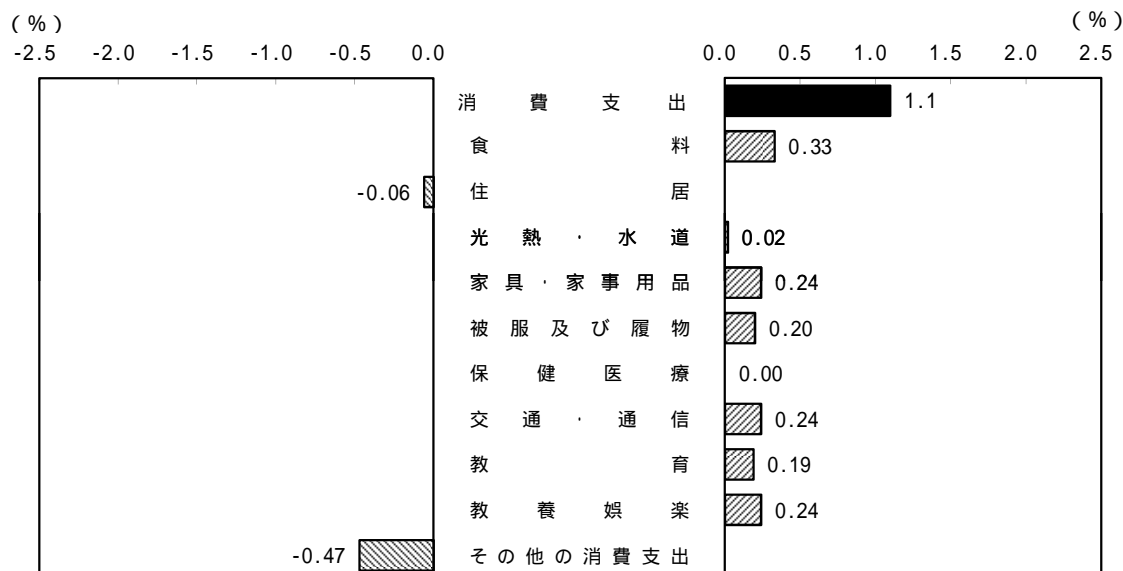
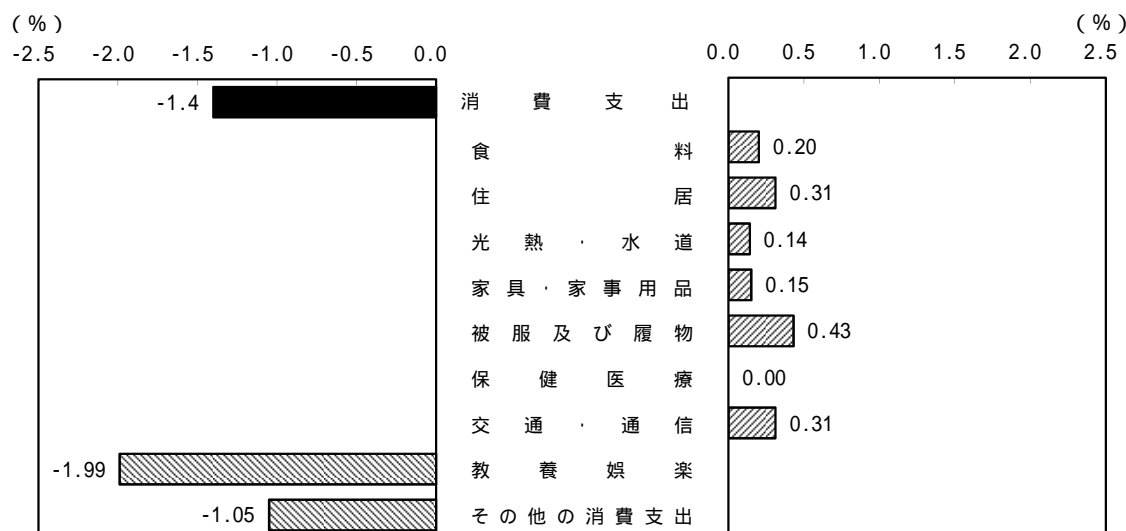


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。